

## 平成28年度 追跡評価とりまとめ票

【調査対象者 112名、回答者 88名、回答率 78.6%】

番号	課題名	評 価 (人)					回 答 者 / 対 象 者	評価要領に基づく 対応等
		活 用 し て い る	加 工 し て 活 用	検 討 中	活 用 し て な い	そ の 他		
1	多収米品種の米粉特性 と米粉の多様な利用方法	0	1	0	0	0	1 / 2	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
2	「せとみ」の安定生産・高品質化のための 水分・施肥管理技術	2	0	0	2	0	4 / 5	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
3	「せとみ」の長期貯蔵 技術	1	0	0	2	0	3 / 4	フォローアップ指導を行うとともに、活用していない理由を明確し、研究管理に反映させる。
4	バラ栽培におけるヒート ポンプを利用した夏季 夜間冷房	5	0	0	1	0	6 / 6	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
5	既存農薬と土壌管理による ハウレンソウケナガコナダニの防除技術	5	0	0	0	1	6 / 9	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
6	簡易なネット被覆による ブルーベリーの害虫 対策	2	0	1	0	0	3 / 3	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
7	ブルーサルビア植栽による 露地ナスのアザミウマ類 天敵の定着技術	0	0	3	3	0	6 / 6	フォローアップ指導を行うとともに、活用していない理由を明確し、研究管理に反映させる。

番号	課題名	評 価 (人)					回 答 者	対 象 者	対 応 等
		活 用 し て い る	加 工 し て 活 用	検 討 中	活 用 し て な い	そ の 他			
8	県内で生産される鶏糞の特性と連用による土壌養分の変化	1	1	0	0	0	2	／ 2	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
9	鶏糞を麦前施用した麦・水稻輪作体系における施肥体系の確立	2	1	0	0	0	3	／ 4	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
10	鶏糞を活用したはなっこりーの施肥体系	1	0	0	3	0	4	／ 4	フォローアップ指導を行うとともに、活用していない理由を明確し、研究管理に反映させる。
11	飼料作物栽培における鶏ふん施用技術	2	0	1	3	0	6	／ 9	フォローアップ指導を行うとともに、活用していない理由を明確し、研究管理に反映させる。
12	集落営農法人の経営指標と新しい経営分析法	1	4	0	4	1	10	／ 10	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
13	県内農産物の栄養・機能性評価	1	1	1	1	0	4	／ 5	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
14	大豆「サチユタカ」の不耕起密条播栽培における適正な播種期と栽培密度	1	0	0	0	0	1	／ 3	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。
15	いちごの多収・省エネルギー型栽培システム「移動式らくラック」	2	1	0	1	0	4	／ 4	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。

番号	課題名	評価(人)					回答者 /	対象者	対応等
		活用している	加工して活用	検討中	活用していない	その他			
16	山口型高設栽培システム「らくラック」での太陽熱消毒によるイチゴ萎黄病の防除	4	1	0	0	0	5 / 6	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。	
17	「エコ50」に対応したブドウの防除体系	0	2	0	1	0	3 / 4	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。	
18	「せとみ」の黒点病類似症状の防除法	4	0	1	0	0	5 / 7	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。	
19	トマト黄化葉巻病を媒介するタバココナジラミの発生状況と総合的防除	5	0	0	0	0	5 / 7	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。	
20	牧草と野草を組み合わせた粗飼料生産	5	0	0	2	0	7 / 10	必要に応じ、フォローアップ指導を行う。	